

平成 19 年度の成果

プログラムの目的のために、昨年度単位化した 4 科目をさらに発展させた。

(1) 国際研究集会企画演習

大学院生が中心となり、小規模の国際研究集会を企画・立案・実行した。

1. Workshop “Recent Development of Hadron Physics”

(4 月 25 日) 15 名参加

2. Symposium-school “Frontiers and Perspectives of Nuclear and Hadron Physics”

(6 月 11-12 日) 67 名参加

3. Workshop ‘Spin and Proton Structure’

(10 月 23 日) 20 名参加

4. Workshop “Advance in Physics with ISOL-based/Fragmentation-based RI Beams”

(2 月 20-21 日) 71 名参加

5. Spring School “New challenges in Nuclear Physics and Related Fields”

(3 月 5-6 日) 51 名参加

6. Workshop “Orbital Motion and Spin of Partons inside the Nucleon”

(3 月 14 日) 18 名参加

(2) 国際研究実地演習

大学院学生を海外の重要な研究機関の現場等へ派遣し、自分の研究を発展させる。

派遣は延べ 35 名で、内訳は、アメリカ 11 名、ドイツ 6 名、フランス 4 名、イタリア 3 名、イギリス 2 名、

スペイン 2 名、カナダ 2 名、スイス 1 名、メキシコ 1 名、ボリビア 1 名、オーストラリア 1 名、国内 1 名である。

(3) 研究企画演習

非常勤講師を招き、「研究企画と研究マネージメント」について集中講義を行った。

(4) 英語理学講義

外国人講師 8 名を招聘、特任教授 1 名を採用し、以下のタイトルで英語による講義を行った。

1. Unification of Sciences: Astronomy, Physics, and Chemistry

2. The dipole response of neutron halos and skins

3. Neutrino-Oscillation Experiments: Quests for θ_{13} and Leptonic CP Violation

4. Probing nuclear structure far from stability via reactions
5. Nuclear Physics, Astrophysics, and Advanced Technologies with Neutrons
6. High energy photon interactions at the LHC
7. Physics of ultra high energy cosmic rays and results from Pierre Auger experiment
8. Studying nucleon structure with BLAST experiment and future electron-ion collider
9. The Neutrino Factory: the physics, the R&D programme, and MICE

(5) 4 科目に加えて、FGIP:Foreign Graduate Students Invitation Program を行った。外国の博士課程の大学院生を招聘して、教員と日本大学院生との共同研究を誘導する。招聘は 15 名で、内訳は、ドイツ 6 名、アメリカ 2 名、スペイン 2 名、韓国 1 名、ベトナム 1 名、カナダ 1 名、デンマーク 1 名、イタリア 1 名である。